

# 販売量 1600万缶

前12月期売  
上高20億円

## こんろボンベ のTTS 震災需要で今期著増へ

カセットこんろ用ボンベなどの輸入販売事業を行うTTS（東京都千代田区外神田、高橋佳嗣社長）は3月30日、同社の近況および当面の方針について以下のことを明らかにした。

同社は08年10月、韓国・

元島製缶（ソウル市、宋成根代表）の100%出資により

設立。JTの連結子会社で

あった東京たばこ商事の事業を引き継ぎ、ライターな

ど喫煙具や雑貨の輸入販売

および、「火子ちゃん」ブ

ランド等の韓国製カセット

ガスボンベや同こんろの輸

入販売を行っている。

本格業務開始は09年4月で2010年12月期の売上

高は約20億円。前年度が9

カ月の変則決算のため単純

比較はできないが、「12カ

月ペースで推定するとはば

横道いで、利益は市場価格

の値下がりからマイナス推

移（高橋社長）という。

売上高に占めるボンベ・こ

んろ関連事業の構成比は55%、喫煙具関連が45%。喫

煙具部門は市場自体の縮小で売上げは減少基調にあるが、今年はいよいよ捨てる

などのチャイルドプルーフ

規制で一製品あたりの利益

性が向上、同部門は今期増

益を見込む。一方、ボンベ関

連事業の前期販売量は11

12月合計で1600万缶弱

（こんろ本体は11万缶）へ微

減。ただ今年には、震災被災地

への救援対応や首都圏の品

不足の解消需要から大幅増

を予想。ボンベを用いた新

器具の発売も寄与すると見

ている。10年12月期売上高

は25.5億円を計画。また今

年は、昨年半ばに開設した

大阪営業所を通じ、関西地

区での同社製品の認知度向上に努めたいとしている。